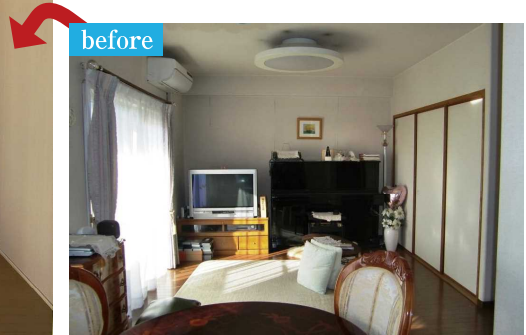


GOOD

リフォームで

M様邸

暮らし UP



一目惚れした照明で リビングをオシャレに変えたい!

複雑なりフォームも
あなぶきさんに
任せれば安心。

14年前、新築時に現在のマンションに入居したMさんご一家。息子さんが成人、娘さんも高校生と成長し、そろそろ子供部屋を改装したいな、と考えていました。そんなある日、インテリア雑誌で勉強中のMさんは素敵な照明を見つけて、「一目惚れしてしまいます。部屋を見回し、「手持ちの家具やカーテンとも相性が良さそう」と笑顔に。思い切つてその愛しい照明を迎え、リビングダイニングも

変えてしまおう、と決めました。
一目惚れの照明は、TOYOキッチン（クランカー）のLUNKER（クランカー）。こんなに大きい照明が上手く付けられるのか、灯りとしてしっかりと役に立つのか、と不安も感じていました。
「マンション特有の部屋の構造や図面を分かってくれている上、提案、ベースを作ってくれてくれるなど、イメージしやすく、とっても安心してできました」と、ご満足されたようです。

照明のリフォームは
照度や利便性も大切。

Mさん宅を担当したのは竹内。「施主様の趣味やイメージがはつきりしていたので、スムーズに進みました」と語ります。リフォームは、空間の美しさはもちろん、そこに住まう際の照度や温度、動線や利便性など、目に見えないものも配慮して行わなければなりません。照明も、細かな作業をするための明るさが必要なのか、くつろげるムードが欲しいのかによつて、プランが全く変わってしまいます。
「照明を主役にムード

重視」という施主様の思いをくみ取り、大きな照明に対応するため天井を補強し、照度不足を補う為ダウンライト2灯を加えました。また、壁紙を南欧風のアイボリーにし、カーテンレールも変え、和室に続く襖もホワイトの引戸にと、新しい部屋に生まれ変わらせました。
「キラキラした照明を眺めながらのビールが、ほんとに美味しいです（笑）」。
リフォームで願いを叶え大満足のMさん。日々の疲れも、大好きな灯りがゆつくりとほぐしてくれます。



シャンデリアと合わせて、リビングの照明もクリスタル調のデザインが施されたものに変更。施主様の好みを知り尽くした担当の竹内が提案したもので、トータルでの完成度が高まっています。



これがMさんの心をとらえた灯り。この照明に限らず、最近流行中のシャンデリアは、装飾の意味合いが強く、それだけでは照度が足りないものが多いそうです。ダウンライトなど補助光をプラスして。

M様邸
3LDK

■仕様

ダイニング照明 (TOYO KITCHEN STYLE)
リビング照明 (KOIZUMI)
シューズBOX (Panasonic)



OTHER POINT

シューズBOX

シューズボックスをリフォームすることで、収納スペースが増え、また扉が付いたことによりすっきりとした印象に。またデザイン的にも廊下の壁ともマッチし、洗練された印象に。